

●ダイヤモンドエレクトリック

熱電デバイスのベンチャーに出資

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス(株) (大阪市淀川区塚本1-15-27、☎06-6302-8211)は、熱発電事業を展開するEサーモジェンテック(株) (京都市南区)へ出資した。今後は、ダイヤモンド社が有する電力変換技術に、Eサーモジェンテックの熱発電技術を融合した技術開発などを進めていく。

ダイヤモンドエレクトリックは、ダイヤモンド電機(株)や田淵電機(株)を傘下に有する企業で、自動車用点火コイルをはじめ、電子機器用の変成器や電源機器などを展開。一方のEサーモジェンテックは2013年設立のベンチャー企業で、同社の熱発電モジュールは、熱電素子を極薄フレキ



シブル基板上に高密度に実装することで、従来のセラミック基板型に比べ約2倍の熱電変換効率を実現して

いる。また、湾曲するため円筒状熱源に対して効率的に実装でき、湾曲しないタイプに比べて約3倍の熱回収効率を実現している。

ダイヤモンドエレクトリックでは、Eサーモジェンテックに出資し、ダイヤモンド電機が試作した微小電力変換ユニット(写真)などとの技術融合を進め、IoTエッジ分野の電源や廃熱を利用した省エネ分野などで事業シナジーを創出していく。